

公認心理師試験について（試案）

1. 出題範囲

出題範囲として詳細な科目は定めず、「公認心理師として具有すべき知識及び技能」について出題する。なお、問題の一部については、公認心理師としての基本的姿勢を含めた基本的能力を主題として作成する。

医師国家試験の出題基準^(※1)及びブループリント^(※2)に相当するものを作成し、出題に際して準拠する基準とする。

※1 出題基準…国家試験の「妥当な範囲」と「適切なレベル」を項目によって整理したもの。

※2 ブループリント…出題基準の各項目（章、大項目等）の出題割合を示したもの。

2. 試験の実施方法等

全問マークシート方式とし、1日間で実施可能な範囲（実施時間として合計300分程度を上限）で150～200問程度を出題する。また、試験問題のうち、ケース問題を可能な限り多く出題する。なお、試験の実施時間は、1問あたり1分（ケース問題については同3分）を目安とする。公認心理師としての基本的姿勢を含めた基本的能力を主題とする問題と、それ以外の問題を設ける。

3. 合格基準

全体の正答率は60%程度以上を基準とする。基本的能力を主題とする問題の正答率は、試験の実施状況を踏まえ、将来的に基準となる正答率を定める。